

重点施策

「かわさき教育プラン中間報告」における重点施策は、3つの専門部会が個々に協議した内容(P1参照)をまとめたものですが、この概要版の重点施策は、川崎市が特に重点的に推進する施策の方向性を、各専門部会の協議内容をもとに検討し、市民の皆様に分かりやすい形式や表現に再構成したものであり、今後の最終的なプランの策定の柱になるものです。

「生きる力」 をつける

家庭、学校、地域の多様な人々とのつながりのなかで、子どもたちの人権を尊重しながら、確かな学力の定着を図り、豊かな人間性や、たくましく生きるための健康・体力の向上をめざし、すべての子どもたちが一人の社会人として、ともに成長することのできる教育を進めます。

施策例:いのち・こころの教育の推進、確かな学力向上プログラムの設定(習熟度別授業、少人数指導、チームティーチング)、安心して子育てができる、ともに育ち合う地域づくり など

「個性が輝く学校」 をつくる

各学校が創意工夫を発揮し、学校運営や教育活動に地域の特色や人材等の教育資源を活かしながら、地域に開かれた学校づくりに取り組むことによって、学校の改革を進めます。

施策例:学校の裁量権拡大、学校評価制度の導入、外部人材の活用 など

「教職員の力」 を伸ばす

子どもたちが自ら学び、考え、行動する「確かな学力」を獲得できるよう、教職員の研修、支援、評価などの仕組みを構築して、指導力の向上を図ります。

施策例:研修カリキュラムの再編、人事評価の見直し、総合教育センター機能の強化 など

「自ら学ぶ市民」 を応援する

学校と社会教育・市民利用施設のネットワーク化によって、市民の地域における学びの場を広げていきます。さらに、シニア世代やフリーターの増加などに対応した川崎らしい市民の学習を進めます。

施策例:学校施設の有効活用、就労など社会的自立に向けた支援、総合型地域スポーツクラブの育成 など

「市民の力」 を活かす

地域住民や保護者に対する情報公開を進めて情報共有を図り、学校の活動に参加したり、地域における教育の施策づくりに参画できる仕組みをつくります。また、行政区を単位とした教育の推進体制づくりを進めます。

施策例:学校教育推進会議・地域教育会議の活性化、
※「拡大教育委員会」設置の検討 など

※「教育行政専門部会」のなかで浮かび上がってきたアイデアで、学識経験者、保護者、校長、教職員、職員団体などさまざまな教育関係者が率直に教育問題について話し合い、諮問機能的な役割を果たすという構想のことです。

